



車の簡単な手入れと処置

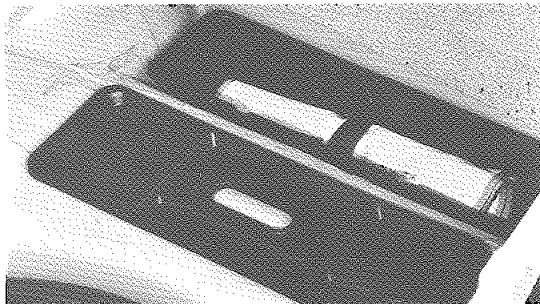


工具とジャッキ

■ジャッキ格納位置

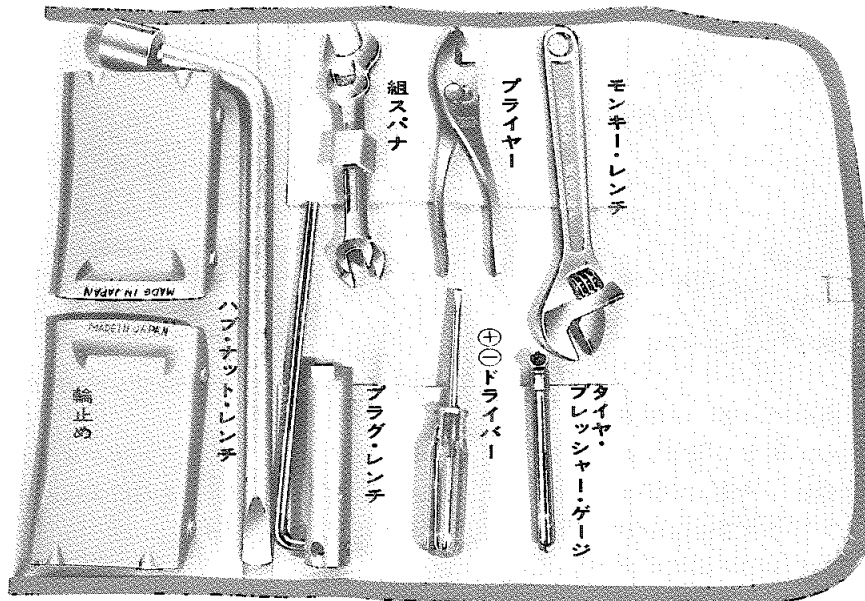
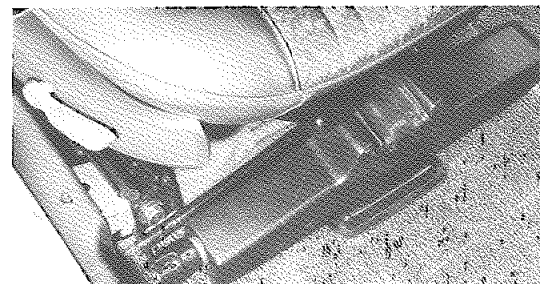
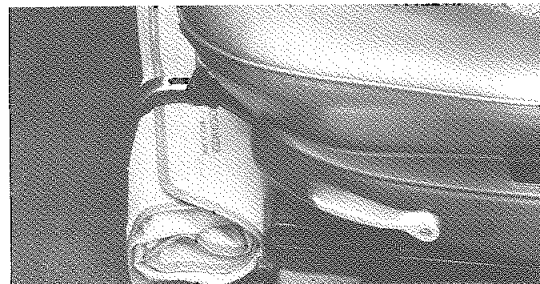
セダン車

工具



ジャッキ・ハンドルは、トランク左側のボックス内に格納されています。

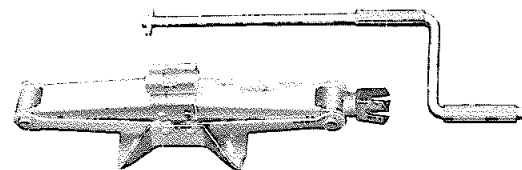
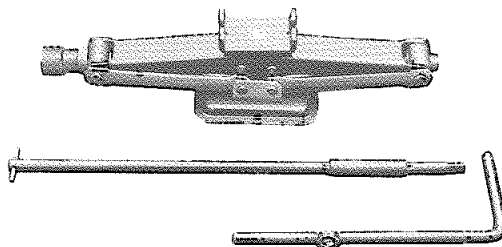
ワゴン車



ジャッキ

ワゴン車

セダン車



吸気コントロールバルブ

寒冷地オプション

①RX系

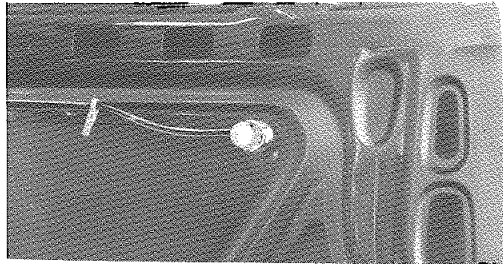
エア・クリーナー・ケースの吸気口にはバルブが設けてあり、バルブを操作することにより、吸入する空気の温度が調節できます。バルブの操作は、ラベルの指示の方向に操作してください。

②MX系

外気温が低くなると自動的にバルブが作動します。

点検灯

LA車以上



エンジン・フード裏側に、点検灯が取り付けられています。ライト・コントロール・スイッチをONにした時に点灯します。

夜間の点検などにご利用ください。

冷却水の交換

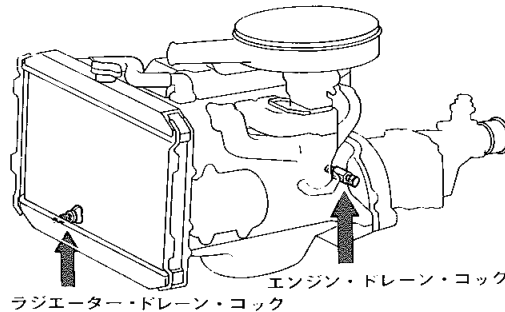
マークIIには、必ずロングライフ・クーラントをご使用ください。

キャッスル・ロングライフ・クーラントは、冷却水と不凍液とを兼ねています。四季を通じて使用でき、通常は2年または40,000kmで交換してください。

交換する場合は次の要領で実施してください。

冷却水の交換

1. 図に示すエンジン・ドレーン・コック、ラジエーター・ドレーン・コックをはずし、冷却水を全部出します。



2. 水道の水でラジエーター内を洗浄しエンジン・ドレーン・コックとラジエーター・ドレーン・コックを取り付けます。
3. ロングライフ・クーラントの注入量は、下記の表を参照してください。

凍結防止温度		-15℃まで	-38℃まで
ロングライフ・クーラントの濃度		30%	50%
参考	冷却水量	16R, 18R系	8ℓ
		M	10.8ℓ

冷却水の補給

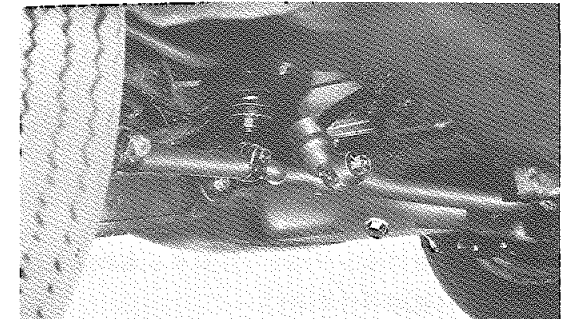
冷却水を補給する場合は左記の表の割合でロングライフ・クーラントを補給してください。

★注意

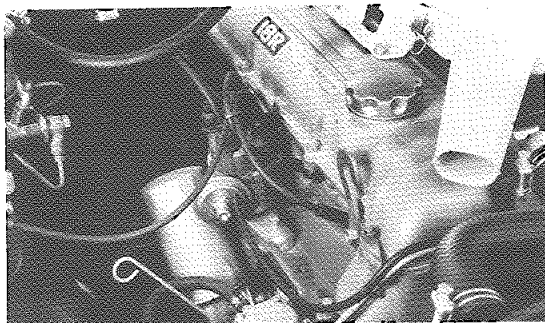
1. 新車および冷却水交換後、エンジン内に空気が残りしばらくは冷却水の減少が見られますが異常ではありません。
2. 補給はリザーブ・タンクに行なってください。LOWとFULLのレベルの間に保ってください。FULL以上は入れないでください。

エンジン・オイルの交換

1. エンジンのドレーン・プラグとオイル・フィラ・キャップをはずしてオイルを出します。



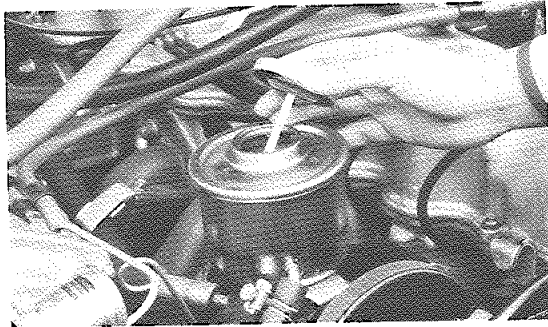
2. エンジン・ドレーン・プラグを取り付け、オイルを注入します。



オイルはトヨタ純正キャッスル・モーター・オイルをご使用ください。

パワー・ステアリング・フルードの点検

LG車



パワー・ステアリングのオイル量を5,000km走行程度ごとにお調べください。
キャップを左に回して取り、オイルがキャップ・ゲージの目盛内にあるか確認します。

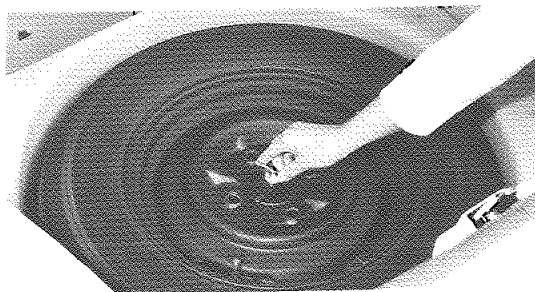
パワー・ステアリングのオイルには、必ずキャッスル・パワー・ステアリング・フルードをお使いください。

パンクの処置

■パンクの処置

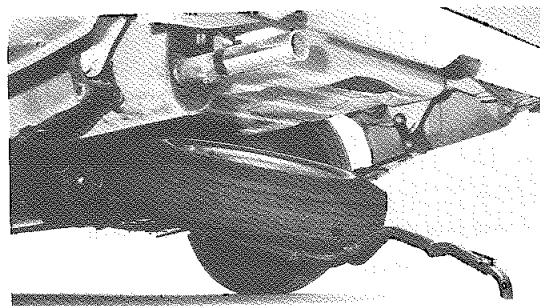
車を道路の左はしによせて

1. 工具、ジャッキ、スペア・タイヤをとり出します。
2. セダン車のスペア・タイヤは蝶ネジを左にまわしてとり出します。

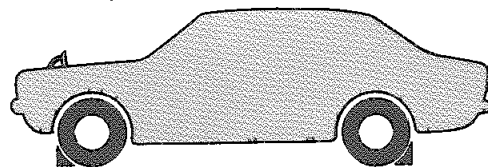


3. ワゴン車は、ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。
スペア・タイヤ・キャリアをおろし、スペア・タイヤを取り出します。

なおスペア・タイヤ盗難防止のため、錠前等で、施錠することができます。



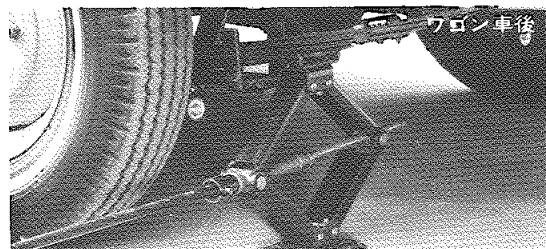
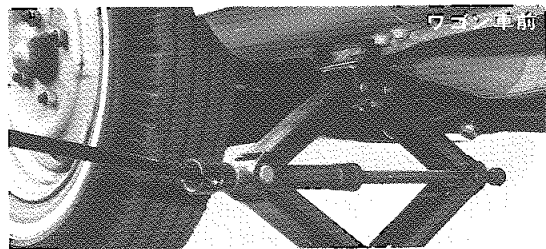
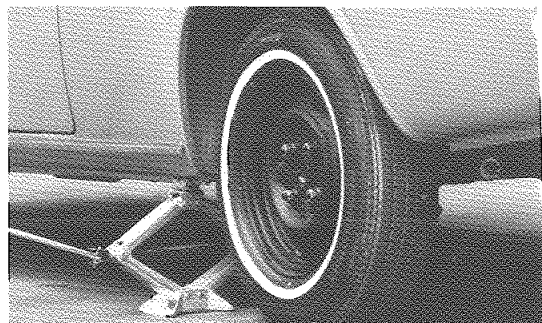
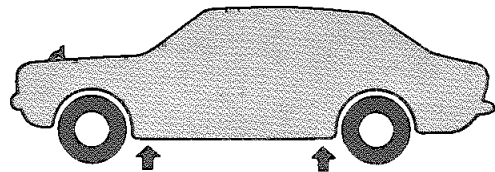
4. 輪止めをします。



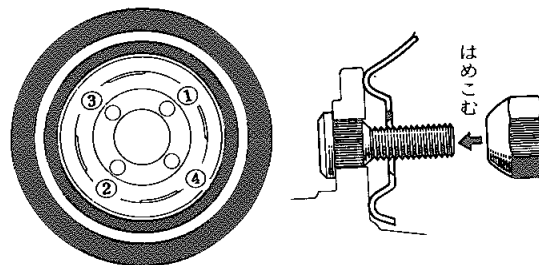
左側パンク時……………右側前後のタイヤ
右側パンク時……………左側前後のタイヤ

5. ジャッキがはずれたときの危険防止のため、スペア・タイヤをパンクしたタイヤのボデーの下に置きます。
6. ホイール・キャップをドライバーではずしません。直接ホイール・キャップに指をかけて引くことはやめてください。
7. ジャッキをセットします。

交換する車輪に近いサイド・レールの切りかき部にジャッキの受けをはめます。



8. タイヤが、がたつかない程度にハブ・ナットをハブ・ナット・レンチでゆるめます。
9. タイヤと道面とが少しあくまでジャッキ・アップします。
10. ナットをはずします。



11. タイヤをとりかえます。
12. タイヤがガタつかない程度にナットを締めます。このときナットの方向をまちがえないように確かめましょう。
13. ジャッキをはずします。
14. ナットを確実に締めつけます。
15. タイヤの空気圧を正規にします。
16. タイヤの空気口にキャップの穴を合わせホイール・キャップをとりつけます。
17. 工具をもとにもどし、パンクしたタイヤは、すぐ修理しておきましょう。

★注意

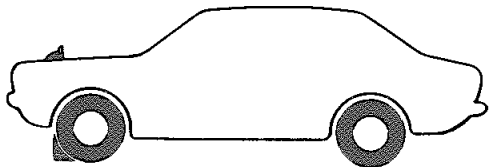
チューブレス・タイヤのパンク修理の場合は、チューブレス・タイヤを修理できる工場で行なってください。

タイヤ チェーン

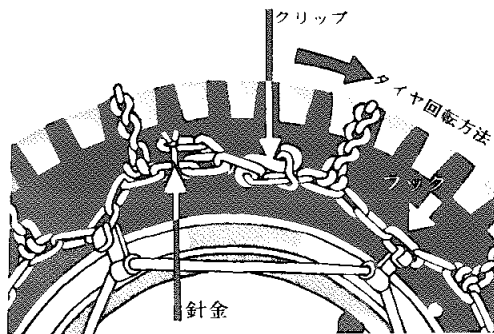
タイヤ・チェーンは後2輪に取り付けます。

<取り付け方>

1. 前輪に輪止めをし後輪をジャッキ・アップします。



2. クロス・チェーンの折り曲げを外にしてタイヤを回しながらチェーンをかぶせます。
3. チェーンを両端をいっぱい引いて連結します。余ったチェーンは、ボデーに当るのを防止するために図のように針金で結びます。



4. チェーン・バンドはフックの爪を外向きにし、チェーンをひっぱります。
5. ジャッキをはずします。

<取りはずし方>

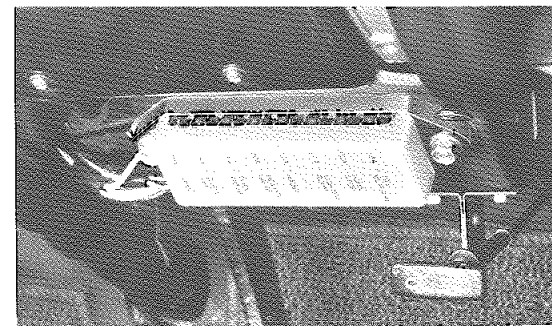
1. チェーン・バンドをはずし、針金をとりクリップは内側から先にはずします。
2. 車を少し動かしチェーンを取り出します。

★注意

タイヤ・チェーンを装着して悪路を走行する場合は速度を50km/h以下で走行してください。

ヒューズ、ランプ類の交換

<故障の調べ方>



運転席右足もとのヒューズ・ボックスのふたにヒューズ容量と主回路名が記入してあります。そのヒューズの受けもっている配線全部が作動しないときはヒューズきれと考えられます。1つだけ作動しないときは、ランプ切れかまたは配線に不具合があります。

<ヒューズの交換>

1. ヒューズ・ボックスのふたを取ります。
2. ヒューズをはずします。
3. 切れたものと同容量のヒューズを交換します。何度もヒューズが切れる場合は、針金、銀紙等を使用しないで、サービス工場で点検を受けてください。

■ランプ交換
フロント



- ①スモール・ランプ &
フロント・パーキング・ランプ(8/3.4W)
- ②フロント・ターン・シグナル・ランプ&
ハザード・ウォーニング・ランプ(23W)
- ③サイド・ターン・シグナル・ランプ(8 W)

バルブ交換は、レンズ表面のネジをはずしてレンズをとり、バルブをいっぱい押しこんで左に回してはずします。

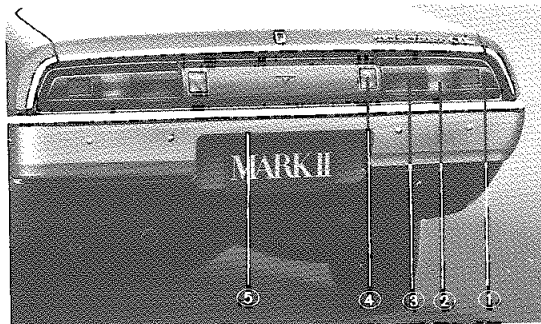
バルブをはめるときは、バルブをいっぱい押し込んで右に回してください。

ダブル・フィラメント・バルブはポッチの位置が左右ちがいますのでご注意ください。

★注意

ソケットおよび接着部の錆、汚れをとってください。

リヤ



- ①テール&パーキング・ランプ(7/3.4W)
- ②ターン・シグナル・ランプ(23W)
- ③ストップ&テール・ランプ(23/8 W)
- ④バックアップ・ランプ(23W)

バルブの交換は、トランク・リッドを開いて、トランク内のランプ・カバーのネジを左にまわしてはずします。

ランプ・ソケットは左へまわして取り出しバルブはいっぱい押し込んで左へまわしてはずします。はめるときは切り欠きをあわせて右へまわします。パーキング・ランプは引っ張るとはずれます。

- ⑤ナンバー・プレート・ランプ(7.5W)

※ランプ・カバーのネジをはずして、カバーを取り、バルブをいっぱい押しこんで左にまわしてはずします。

リヤ

ワゴン車



- ①ターン・シグナル・ランプ(23W)
- ②パーキング・ランプ(3.4W)
- ③テール&ストップ・ランプ(23/8 W)
- ④バックアップ・ランプ(23W)

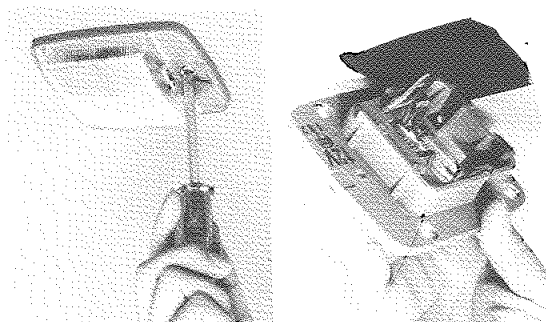
※レンズ表面わくのネジ4個をはずしてランプをとり出し裏側から各ランプ・ソケットを左にまわしてはずし、さらにソケットからバルブをいっぱい押し込んでまわしてはずします。

- ⑤ナンバー・プレート・ランプ(7.5W)

※ランプ・カバーのネジをはずして、カバーを取り、バルブをいっぱい押しこんで左にまわしてはずします。

ルーム・ランプ

フロント



バルブの交換は、スイッチをOFFにして、ネジをはずし、ランプを引っぱり出してウラ側からバリブを取りはずします。

リヤ

ルーム・ランプ・ボデーを⊖ドライバーではずして電球を交換してください。

バック・ドア・ランプ

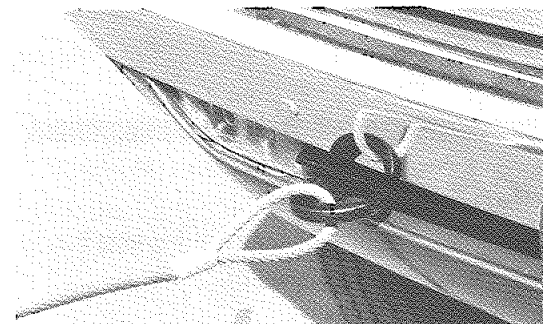
ランプ・カバーをはずし電球を交換します。

けん引について

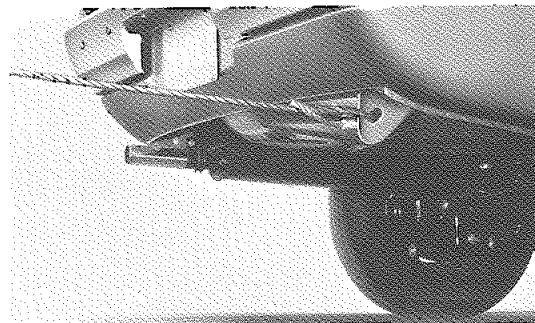
〈けん引ロープをかける位置〉

フロント

けん引フック（オプション）を取り付けてください。

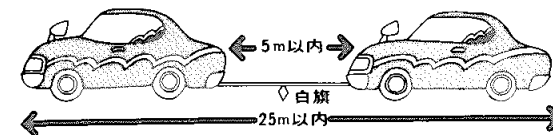


リヤ



右側のフックを使用してください。左側のフックは新車時車両輸送用のものです。使用しないでください。

〈けん引のしかた〉



けん引車は、急発進・急停車をしないようにし、けん引される車は常にロープがたるまないように気をつけましょう。

★注意

〈オートマチック・トランスミッション車の場合〉

1. ①にして30km/h以下で行なってください。
2. オートマチック・トランスミッション内部に故障があり、動かすと不具合があると思われるときは、後の車輪をつり上げるか、プロペラ・シャフトをはずしてからけん引してください。

塗装の手入れ

車を美しく保つには、日頃のお肌(塗装)の手入れが必要です。

ボデーのほこりは柔らかい布か毛ばたきでとりましょう。

塗装面が汚れたときは、なるべく早く洗車をし、汚れのひどいときは洗剤を使用しましょう。

また塩分が付着したときは早く洗車しましょう。ワックスがけは適時、ボデーにつやのなくなる前に行なってください。

<洗車方法>

1. 下まわりを洗いましょう。
2. スポンジかセーム皮で水量をたっぷりにして洗いましょう。
3. 汚れのひどいときは、必ずカーシャンプーを使用してボデー温度が体温以下になってから洗いましょう。
4. 塗面に、はん点が残らないよう十分水分をふきとりましょう。

<ワックスがけ>

1. 1カ月に1度または水のはじきが悪くなったとき行なってください。
2. ワックスがけはボデーが体温以下になってから行なってください。
高温では塗装面が柔らかくなっていますからしみになる恐れがあります。
3. 使用方法はワックスに記されていますからよく読んでお使いください。

4. ワックスは、トヨタ純正品で下記の名称のものをお使いください。

オートワックス・デラックス

オートワックス・カスタム

オートワックス・スペシャル

スピーディ・オートワックス・スクリーン

スピーディ・オートワックス・ダッシュ

スピーディ・シュット

★注意

ワックスの中にコンパウンド(細かい砂)の入っていないものをご使用ください。

(コンパウンドの入っているワックスを使用すると表面に細かい傷が残ります。)